

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛
をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管
理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座
についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法により行います。
(当社ホームページURL <http://www.manac-inc.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

株主通信

第72期 中間のご報告

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日

ごあいさつ

第72期の中間株主通信をお届けするにあたり、株主様をはじめとする関係者の皆様の、日ごろのご支援とご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

上半期の経営環境は、新興国経済の下げ止まりや、米国経済の景気・雇用の拡大継続、欧州経済の回復基調等により、世界経済は総じて底堅く推移いたしました。

日本経済につきましては、企業業績の回復鈍化や個人消費の弱さの影響等により、足踏み状態が継続いたしました。

このような環境下で、当社グループは高付加価値製品の研究開発、国内外における新規市場開拓、既存市場・既存製品の深耕、新規事業に積極的に取り組んでまいりました。

グローバル展開においては、2016年3月に中国の上海市に、中国国内での輸出入業務を目的とした現地法人 マナック(上海)貿易有限公司を設立し、現地顧客と密着した販売・技術サポート体制を整備いたしました。これにより、中国を中心としたアジアにおける事業の拡大を図っております。

また、子会社の八幸通商株式会社及び南京八幸薬業科技有限公司とも連携し、生産性の向上及び安定品質の確保につなげ、今後の成長が見込まれる新たな市場への足がかりを築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層の当社グループの事業活動にご理解を賜り、さらなるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 杉之原 祥二



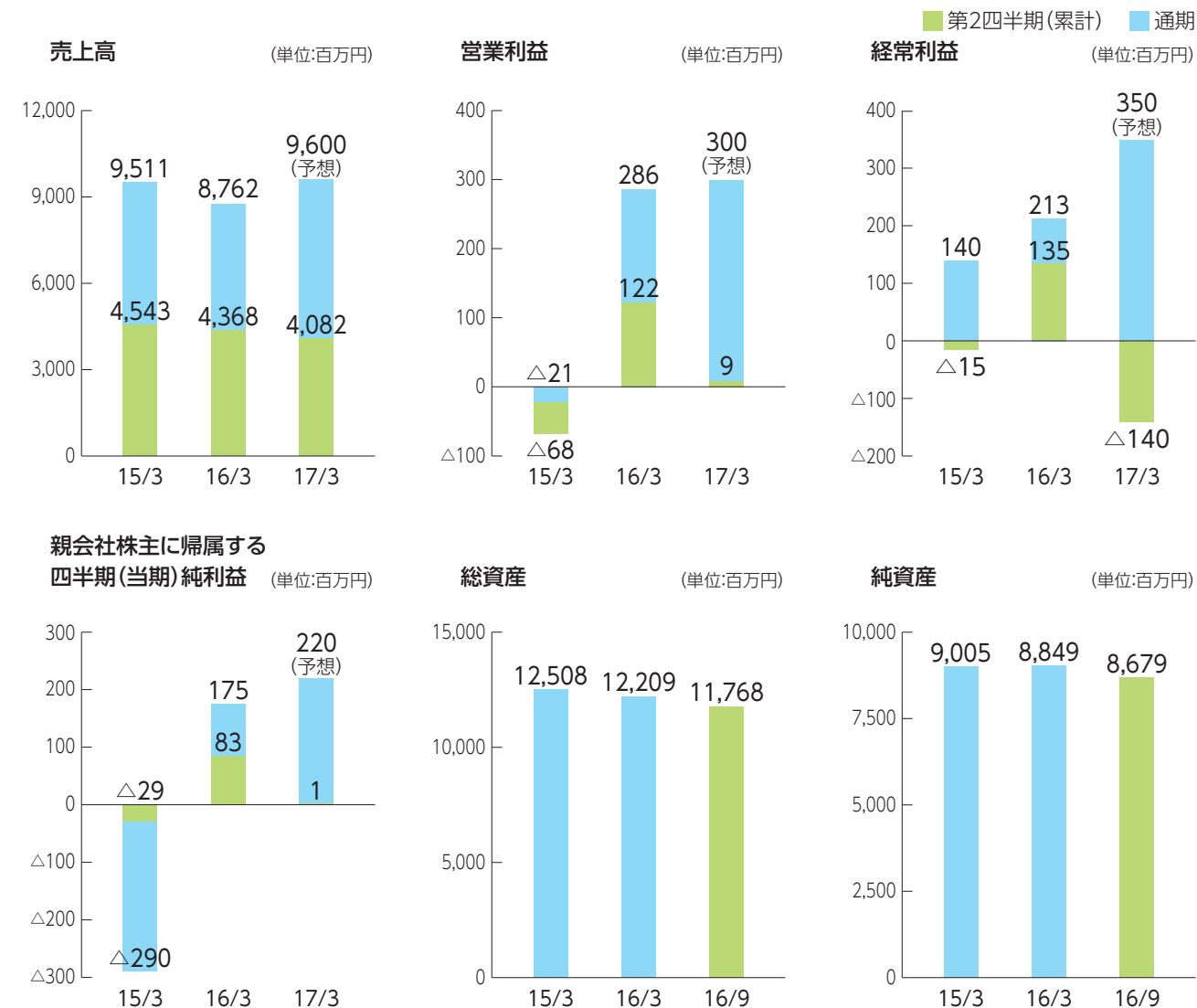
『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

企業理念

経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

連結財務ハイライト



マナックオリジナル臭素系難燃剤 ポリマーナ™

福山工場内の研究所には当社保有の合成技術が集約されるとともに、研究者が自ら国内外問わずマーケットと直結することで顧客ニーズをつかみ、社会的存在価値のある製品の開発を行っております。

また、将来当社の売上、利益を創出し、事業の大きな柱となる新製品の開発や、それらを達成する新技術の開発のため、産学連携を積極的に行い、事業の川下化、技術領域の拡大に向けた取組みにも積極的に取り組んでおります。

その代表例の一つが、今回ご紹介させていただく、新規難燃剤『ポリマーナ™ (POLYMANA™)』シリーズになります。

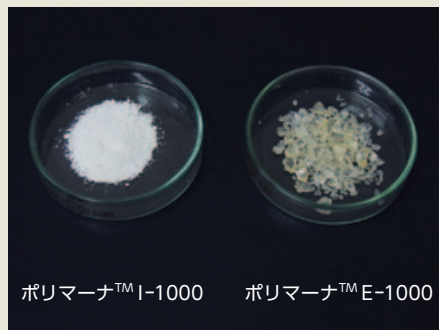
現在、難燃剤の開発に取り組んでいる研究所の方々にお話を伺いました。

新たな難燃剤開発の必要性、 重要性についてお話しください。

難燃剤は、プラスチック樹脂などの可燃性物質を燃えにくくする添加剤であり、火災から人命や財産を守るうえで必要不可欠なものです。

私たちの身の回りの材料が生活スタイルの変化により、金属から樹脂に変わってきたことを背景に多種多様な難燃剤が開発され、発展してきました。

現在では、健康・環境安全意識の向上に伴い、環境・人体に配慮した材料設計



が求められています。

このように時代とともに変化していくニーズを先取りし、私たちは常に満足していただける材料を提供していく使命があると考えています。

新製品の概要について教えてください。

今回発表した『ポリマーナ™』は、環境に配慮した高分子型の難燃剤を基本コンセプトとして開発したマナックオリジナルの臭素系難燃剤です。

現在、特長の異なる「ポリマーナ™ I (アイ) タイプ」と「ポリマーナ™ E (イー) タイプ」の2アイテムについてラインナップを進めています。

I (アイ)タイプは、近畿大学 須藤教授との研究から見出された高分子であり、高い熱安定性を最大の特長としています。従来の難燃剤では対応が難しかった300℃を超える加工が必要な高耐熱樹脂の難燃化をターゲットとしてい

ます。

E (イー)タイプは、類まれなハイメルト性を特長として、広範囲な分野で配合が可能になります。従って、高精密な成形分野や接着・粘着剤、ホットメルトなど従来の高分子型難燃剤では適用が困難であった用途への展開を模索しています。

これまでにある難燃剤との違いは何でしょうか。

現在も多くの難燃剤が市場には存在しますが、この『ポリマーナ™』は、新規の化学構造を採用しており、それぞれのタイプでオンリーワンの性能を有しています。

I (アイ)タイプは、先ほども挙げましたが、従来の難燃剤と比較して、圧倒的な熱安定性が特長です。また、樹脂と混ざりやすくするための構造も導入しており、熱安定性以外の部分でも従来の難燃



剤と差別化できるものと考えています。

E (イー)タイプは、モノマーの使い勝手の良さやポリマーの物性の良さを兼ね備えたハイメルト型難燃剤として、従来の高分子型難燃剤では困難な温度域でも加工が可能となります。このような特性を生かし、難燃化+αの機能にも着目した展開が図れるアイテムとなっています。

新たな難燃剤の最も期待される活用分野は何でしょうか。

I (アイ)タイプは、エレクトロニクス製



品や自動車材料、産業機械材料など樹脂材料の高耐熱化や高機能化が目まぐるしい分野で活躍ができるものと期待しています。

本年9月に開催されたN+(エヌプラス)展では、来場者からの感触も良く、早くも多くのサンプル要請をいただいている状況です。

E (イー)タイプは、ポリエステルなどのエンジニアリングプラスチックでも使用可能な耐熱性を持ちながらハイメルトな特性を生かして精密成形やホットメルトモルディングなど今後成長が見込める先進的な分野を想定しています。しかし、ユニークな特性のため、私たちもまだ見えていない用途で活躍できるのではと期待しています。

E (イー)タイプは、N+(エヌプラス)展が初公開でしたので、これをきっかけになるべく多くの新規材料の開発に試していただき、新たな分野を開拓していきたいと思っております。

今回の開発で苦労された点などお話しください。

I (アイ)タイプは、開発当初、全く思ったような性能が出ないとか、一部の性能のみに着目して開発したせいで大きな失敗をするといったことの繰り返しでした。中には、化合物単体では非常に良い性能を出していたにもかかわらず、樹脂に配合するテストで、全く混ぜることができないくらい熱分解してしまい、即日開発を断念した化合物もあります。当時は思い出すと今でも悔しい気持ちがこみ上げてきます。

それらの反省をもとに、近畿大学 須藤教授とディスカッションを重ねることで新たな研究の方向性を見出すことができ、それがI (アイ)タイプとして現在に至るということはうれしい限りです。

しかし、本当の苦労はこれからだと思います。I (アイ)タイプもE (イー)タイプもより多くの場面で長く活躍できるように、私たちは研究を進めていきます。

株式の状況

株式の状況

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	1,572名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	1,608	20.0
一般財団法人松永財団	1,523	19.0
株式会社広島銀行	322	4.0
マナック社員持株会	271	3.4
杉之原 祥二	254	3.2
株式会社合同資源	200	2.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	139	1.7
光和物産株式会社	121	1.5
中尾薬品株式会社	101	1.3
東洋証券株式会社	100	1.2

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が591千株あります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

配当関連情報

当社の株主還元方針

利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本利益率の向上を図るとともに、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めながら、配当額を決定していく予定です。

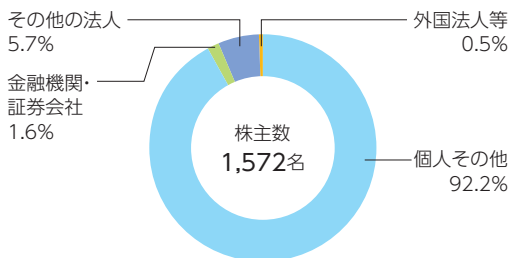
当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、取締役会であります。

第72期の配当金

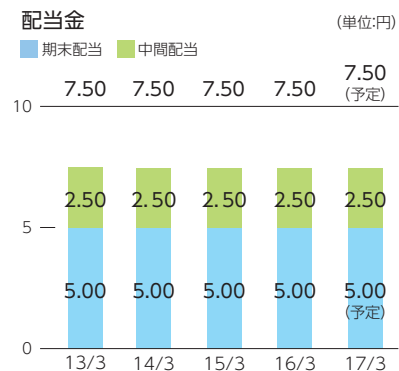
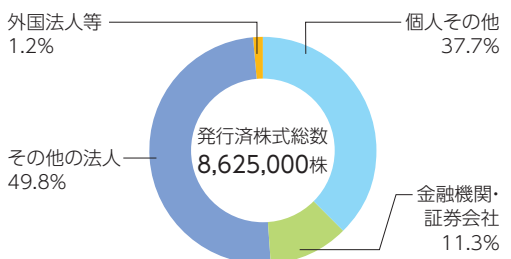
第72期の中間配当金につきましては、1株当たり2円50銭とすることに決定いたしました。第72期の年間配当につきましては、期末配当金として予定している5円を加え、7円50銭を予定しております。

内部留保資金につきましては、お客様のニーズに応える新製品・新技術開発のために必要な投資ができるよう備えてまいる所存であります。

株主数別分布状況



株式数別分布状況



会社概要

会社概要

(2016年9月30日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階
設立	1948年(昭和23年)5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	192名(グループ従業員数 319名)
事業内容	難燃剤、医薬品、高機能性材料、電子材料、食品添加物など様々な分野の先端技術産業に原材料を供給

主な事業所

本社 〒103-0027
東京都中央区日本橋3丁目8番4号
日本橋さくら通りビル6階
TEL: 03-3242-2561 FAX: 03-3242-2564

大阪営業所 〒541-0041
大阪市中央区北浜3丁目5番22号
オリックス淀屋橋ビル3階
TEL: 06-6227-5988 FAX: 06-6227-5978

福山工場・研究所
〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地
※(登記上本店) TEL: 084-954-3330
FAX: 084-953-8523 FAX: 084-957-4370

郷分事業所 〒720-0093
広島県福山市郷分町950番地の1
TEL: 084-951-2501 FAX: 084-951-2502

役員

(2016年9月30日現在)

代表取締役社長	杉之原 祥二
代表取締役専務	小林 和正
専務取締役	村田 耕也
常務取締役	千種 琢也
取締役	北村 彰秀
取締役	西山 孝史
取締役	内山 佳之
取締役(監査等委員)	内海 康仁
取締役(監査等委員)	石井 潔
取締役(監査等委員)	本田 祐二

(注) 取締役 内山佳之氏、内海康仁氏及び本田祐二氏は、社外取締役であります。

子会社

社名 マナック(上海)貿易有限公司
本店 中国上海市中山西路999号 華聞国際大廈502A室
事業内容 中国国内における輸出入業務

社名 八幸通商株式会社
[100%出資子会社で南京八幸業業科技有限公司(中国・南京市)も連結子会社としております。]

本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号 晴花ビル3階
事業内容 化学薬品の製造、販売

社名 エムシーサービス株式会社
本社 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地
事業内容 倉庫賃貸、環境計量証明及び化学分析、環境関連商材・各種装置の販売及びそのシステム提案

関連会社

社名 ヨード・ファインケム株式会社
本社 〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目12番6号 東信商事ビル7階
事業内容 ヨード化合物の製造、販売